

宇都宮大学第1回東日本大震災ボランティア

災害ボランティア学生を約 160 名派遣



宇都宮大学は、“復幸”に貢献する人材の育成という教育方針の下、4月29日(金)から5月1日(日)までの3日間、石巻市社会福祉協議会災害ボランティアセンターと連携し、宇都宮大学独自の事業資金である峰が丘地域貢献ファンド及び大学内の義援金を経費として、学生ボランティア約160名を派遣しました。

1日あたり50人強が深夜にバスで出発し、石巻市街地で泥かき出し・運び出し作業等を行い、翌日深夜、学生それぞれが満足な表情で、元気に大学に帰還しました。

